

自立活動だより No. 4

令和5年12月15日

大宮ろう学園 自立活動部

中学部の自立活動

今回は中学部の1年間の自立活動の授業を紹介します。以下は1年間の授業概要です。

聴覚学習・・・聴覚支援部の先生方の出張授業を中心に実施。

1年：聴こえについて学ぶ。

2年：補聴機器や補聴手段について学ぶ。

3年：聴覚全般について学ぶ。←質問に答える形で。



社会常識・・・社会生活を送るために必要なマナー等を学ぶ。学年ごとに4時間。

各学年の実態に応じたテーマを設定し行う。

★携帯スマホ安全教室を学部全体で外部講師を招いて行う。今年度は7月に実施。

手話・・・ワークショップを通して、手話の意味を考え、正しい手話の使い方を学ぶ。

聴者に手話を教える体験をする。←例年、介護体験の学生を対象に行っているが、コロナ禍により実施できず残念な状況。

言語・コミュニケーション・・・ワークショップを通して、様々なコミュニケーション方法を考える。基本は学部全体で縦割りグループを作り相談し全体で発表する流れで行っている。

1, 2学期に合わせて5時間実施。

*1学期：学年縦割りグループに分れ、校舎内の場所と状況を説明した文をもとに、その場所と状況の写真を撮り、合っているかどうかを全体で発表を行なった。

*2学期：伝言ゲーム。学年縦割りグループに分れ、指示された文章を、声を切り手話や身振りのみで相手に伝え、正しく伝わったかどうかを競う。そして、適切な表現は何かを全体で確認し合った。



トークタイム・・・生徒一人ひとりが、自分や身の回りのことについて作文を書き、それをもとに、相手に伝える工夫を行い、学年縦割りグループに分れお互いに見合う練習を行い、発表会を行う。3学期の土曜参観で発表会を実施予定。

障害認識・障害者の日にちなんで・・・聴覚障害やろうについての認識を深める。様々な障害について知る。さらに社会に出て活躍する先輩を招いて講演を行う。今年度は7時間を実施予定。1学期に視覚障がい者・高齢者体験を実施。3学期にワークショップと講演会を実施予定。

◎子供から大人へと葛藤を繰り返しながら成長していく中学時代。聴こえないことへの障がい認識を深め、将来の社会生活を見据えて、コミュニケーションの力を高めることを重点に中学部では取り組んでいます。